



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー 〜認知症〜

「認知症」と診断されると、多くの方は絶望的に思われるのではないのでしょうか。先月、中央公民館にて、「認知症〜困っている家族はどうしたらいいか」と題し、シンポジウムが行なわれました。そこで希望を持たれた方も多かったのではないのでしょうか。現在の認知の程度、認知の原因を様々な検査で追究し、投薬や脳外科手術などの治療で状態を改善できること、進行を遅らせることが様々な症例をもとに紹介されました。そこで大きな鍵を握っているのは早期発見です。「今までと何か違う」、そう思った時にかかりつけ医に相談することが大切です。その上で、専門医を紹介してもらい、適切な治療を受けることが出来るのです。

在宅シリーズ〜訪問看護

外出することもなく、人に会うのも嫌がる奥様を懸命に介護しながら、仲良く暮らしていらつしやるご夫婦です。音楽がお好きなお二人に少しの時間でも楽しんで頂くとうと、友人のハンドベルグループに訪問演奏をお願いしました。日程を決める段階からウキウキしている様子です。当日、演奏を嬉しそうに聴いていたご夫婦が「何かお礼を」と用意され

たのは、メッセージカードでした。たどたどしくもご主人に促され奥様が書かれた「ありがとう」の文字に名前。友人グループはそのカードにとっても感動したとの事。ご主人はその日の様子をカメラに収め、後日お邪魔した際にはアルバムに編集されていました。ご夫婦にとっても、私にとっても素敵な思い出になりました。

ひげドラッグ



先月から新型インフルエンザの予防接種が始まりました。患者さんとの接触を防ぐ為、お待ちいただく場所を色々工夫している状況で、ご迷惑をお掛けしております。新聞報道でも「ワクチン求め奔走」「電話殺到、医院バニック」などの記事に混乱する医療機関が浮き彫りにされています。当クリニックでも問い合わせ電話が多く、電話がつながり難い状況が生じ、苦情を頂くこともあると聞いております。ワクチンも割当量が定められていることもあり、現在の状況は中々解消できないと考えます。何卒ご理解ください。

食のすすめ

〜乳児栄養相談終了証〜



離乳食の期間は、通常生後五ヶ月位から一歳半まで、その後は幼児食へと移っていきます。離乳食は赤ちゃんに食物の舌触りや味、咀嚼になれてもらうこと目的に加

え、バランスの取れた栄養摂取が必要になる時期でもあります。離乳食、幼児食には辛いもの、塩分、添加物への注意が必要です。子供の成人病、メタボリックシンドロームなども離乳食、幼児食の影響が強いと考えられています。栄養相談室では月例に合わせた離乳食の相談に通われたお母様に離乳食完了期に、「乳児栄養相談終了証」をお渡ししています。子育てに不安を感じている方、一度相談にいらつしやいませんか。

すたっふ便



十二月も中旬になると、神社の門前や寺社の境内で正月商品を売る「歳の市」が開かれ、一層慌しく感じられるようになります。沿線の東京浅草寺境内で十七日から十九日まで開かれる「羽子板市」は最も大きな市として人気を集めています。伝統的な役者絵を描いた羽子板の他、最近のニュースや話題の人物を題材にした「変り羽子板」など、華やかな羽子板が並び、目を楽しませてくれます。羽子板は邪気を跳ね(羽根)返す板として縁起物です。

十二月の予定ー師走

休診日 六日 十三日

二十日 二十三日

二十七日 三十日

三十一日



※新年は四日から診療します。